

英語を使う体験的な活動を積み重ねながら  
コミュニケーション能力の育成を図る外国語活動のあり方  
～単語の学習からTalkingへ～

指導者 HRT 大崎 浩子  
ALT Kevin Butters

1 単元名 ハッピー サンクスギビング！（買い物しよう）

2 目標

買い物に使う言葉を知り、これを使って尋ねたり、答えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。（コミュニケーションを図ろうとする態度）  
日本語と英語の違いや外国の行事に興味・関心をもつ。（言語や文化に対する体験的な理解）  
買い物に使う言葉を尋ねたり、答えたりしながら、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。（音声や基本的な表現への慣れ親しみ）

3 単元について

(1) 単元設定の理由

児童は、HRT や ALT との外国語活動の中で、歌やチャンツを中心に英語の音やリズムに親しむ活動やゲームを通して英語の単語や表現に慣れる活動をしてきた。このようにして積極的に英語を聞いたり、話したりすることが英語によるコミュニケーションの基礎・基本であると考えている。10月になって、季節を盛り込んだ外国の行事である、秋の感謝祭"Thanksgiving"を体験することを活動のねらいにおき、この場面を設定した。"Thanksgiving"は大人はもちろん、児童にとっても身近な行事ではない。しかし、「買い物をする」という興味・関心の高い活動場面を盛り込むことで英語の表現に慣れることは、コミュニケーション活動の充実につながり、さらに英語や英語圏の文化に触れることのできる意義のある活動と考え、本単元を設定した。また、英語を使って友達から質問を受けたり、答えたりすることにより、自分自身の活動を振り返ることができ、英語で思いを伝えることのできる喜びを実感できるだろうと考える。そして、英語が使えた充実感やを持つことで、「もっと英語を使って友達と話したい。」「は英語で何と言うのか知りたい。」とつながるような学習を取り入れながら、多くの友達と関わらせていき、英語を使ったコミュニケーション能力を高めていきたい。

(2) 児童の実態

児童は、HRT や ALT との外国語活動の時間を楽しみにしている。外国語活動の中で学習した単語、歌、ジェスチャー、そして英会話などは、朝や帰りの会、授業の中で積極的に取り入れている。また、HRT や ALT の英語での指示はジェスチャーを交えれば、ほぼ理解できている。授業中においてもコミュニケーション活動に主体的に取り組もうとジェスチャーを交えながら表現しようとする児童が増えている。ジェスチャーや表情などを取り入れることで、相手の意図をより正確に理解したり、ジェスチャーや表情などを交えて話すことで、自分の思いをより正確に伝えたりすることができることなど、言葉によらないコミュニケーションの役割も理解させたいと考える。

4 単元の活動計画（4時間） は本時

時	主な内容	態度	体験	慣親	評価基準(方法)
1	サンクスギビングの由来って！ ・サンクスギビングという行事の由来や英語表現を知る。				・日本語と英語の違いや外国の行事に興味を持ち、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表・観察） ・音声やリズムに慣れ親しんでいる。（発表・観察・振り返りカード）
2	サンクスギビングに関する英語表現を知ろう。 ・サンクスギビングに関する写真を使い、それに関する英語表現に親しむ。				・英語を聞こうとしたり、話そうとしたりしている。（発表・観察） ・音声やリズムに慣れ親しんでいる。（発表・観察・振り返りカード）
3	買い物に使う言葉を練習し、買い物の準備しよう。 ・サンクスギビングに関する物を買って使い、店員、お客という役で活動を楽しむ。				・英語を聞こうとしたり、話そうとしたりしている。（発表・観察） ・英語を使って、尋ねたり、答えたりする表現を体験的に知る。（発表・観察・買い物カード・振り返りカード）
④ 本時	ハッピー サンクスギビング！ ・サンクスギビングを通して、買い物をする時の言い方に慣れ、友達とのコミュニケーションを楽しむ。				・友達や ALT と進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表・観察） ・英語を使って、尋ねたり、答えたりする表現を体験的に知る。（発表・観察・買い物カード・振り返りカード）

5 本時の活動

(1) 目標

友達やALTと進んでコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 準備・資料

児童: 買い物カード(3枚), 振り返りカード

HRT: サンクスギビングについてのフラッシュカード, CD, CDプレーヤー

(3) 展開

評 は評価

過程(時間)	児童の活動	教師の願いと支援	
		H R T	A L T
1 あいさつ (1)	・ "Hello, Kevin" "How are you ?"	・ 児童が元気よくあいさつができるように一緒にあいさつをする。	・ "Hello, everyone." "How are you ?" "I'm ~."
2 歌 (3)	・ "Seven steps"を歌う	・ 児童と一緒に活動する。	・ H R T の提示するカードと合わせながら, ダンスをして楽しく歌う。
3 知る (2)	・ Thanksgiving の買い物の話を聞く。	・ カードの提示と一緒に発音していく。	・ リズミカルに買い物の表現を繰り返し, 楽しい雰囲気作りに努める。
4 ふれる(8)	・ HRT が指したカードの名前の言い方にふれる。		
5 慣れる(6)	・ 陣取り battle ゲームをする	・ 学級を二つに分け, 店員とお客になり, インタビューしながら相手の陣地に入っていくゲームであることを伝える。 ・ 2人の児童がデモンストレーションをする。児童組のどんなところが良かったかを話し合わせる。	・ H R T と A L T , A L T と児童で, デモンストレーションをし問答の仕方を確認できるようにする。 ・ 笑顔で対応することやアイコンタクトの大切さについても指導する。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Cu(H) : Hello. Cl(K) : May I help you ? Cu(H) : (Turkey) , please. Cl(K) : (Thirty-eight).</p> <p>Cu(H) : I'll take it, or No, thank you. Cl(K) : Here you are, or Okey. Cu(H) : Thank you. Cl(K) : You are welcome. Cu(H) ・ Cl(K) : Bye bye.</p> </div>			
6 楽しむ (18)	・ 「ぴったり150ドル買いましょうゲーム」をする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ペアになりジャンケンをし店員と客に分かれる。客になった方が店員が持っているカードから買い物ができる。 ・ を繰り返し, ぴったり 150ドル買った人が勝ち。 カードがなくなったら HRT, ALT からもらう。</p> </div>	・ ALT とデモンストレーションをする。  ・ 自信をもって, 買い物活動に参加している児童には, 自分なりに考えたジェスチャーを入れてもよいことを助言する。  評 友達やALTと進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 (観察, 発表)	・ Big Voices , Big Smile で買い物をするように助言する。  ・ 買い物がうまく進まない児童には, あいさつと "May I help you ?"を相手に元気に伝えられるように助言する。
7 振り返る (6)	・ 振り返りをする。うれしかったこと, 楽しかったこと, 次にやってみたいことなどを発表する。	・ 次の活動に生かせるように思ったこと, 気づいたことを記述してよいことを助言する。 ・ Good Point を挙げ, 自信をもたせる。	・ Good Point を挙げ, 自信をもたせる。
8 あいさつ (1)	・ "Good bye, Kevin."	・ "Good bye."	・ "Good bye, everyone" "See you next time."